

私学いばらき

発行 茨城県私立中学高等学校
保護者会連合会
(茨城県私学協会内)
〒310-0911 水戸市見和 1-356-2
茨城県水戸生涯学習センター分館内
TEL 029-226-1224・FAX 029-226-1273

ホームページアドレス
<http://www.ibaraki-shigaku.jp>

茨城県私学保連の活動を 振り返って



平成24年度
茨城県私立中学高等学校保護者会連合会
会長 塚越 和之

平成24年6月13日、茨城県私立中学高等学校保護者会連合会（以下、県私学保連）の総会の席で、前会長三村勝則様より会長職を引き継ぎました。

初代山崎会長、二代目三村会長共に県私学保連のリーダーとして素晴らしい活動でしたので、内心不安でいっぱいでしたが、石塚事務局長をはじめ事務局員の皆様、小宅副会長・大石理事・野口理事・荘司監事をはじめとする役員の皆様、そしてその役員を支えて頂いた幹事の先生方と、多くの方の心強いバックアップがあり、今日まで何とか務めることができました。この場をお借りして心より厚く感謝を申し上げます。

さて、私達県私学保連のこれまでの活動について、大きく3つに分けて報告させていただきます。

最初に、県私学保連主催の保護者研修会及び善行生徒表彰を11月15日に開催致しました。平日にもかかわらず、大勢の方にご参加頂き、盛大に開催することができました。今年度は、茨城キリスト教学園高校の先生で、社会人落語日本一決定戦三代目名人でもある「二松亭ちゃん平」こと斎須博先生の落語による講演でした。斎須先生の力と心のこもった話で、ハッと気が付くとあまりの迫力に今、目の前で本当に起こっている様な錯覚に陥り、一瞬自分がどこに居るのかわらなくなった気がしました。この講演を快諾して頂いた斎須博先生には、この場をお借りして感謝を申し上げます。ありがとうございました。また、その日同じ会場で善行生徒表彰を行いました。4校から1グループと9名の推薦があり、推薦があった全ての方に対し表彰をさせていただきました。これは、三村前会長の、1人でも多くの生徒を表彰したいという考えを私も受け継がせて頂いたことと、生徒達の勇気ある行動は今の我々大人も見習わなくてはならないという私なりの思いからでした。来年度も1人でも多くの生徒にこの賞を贈ることができるようにと願っております。

2つ目の活動ですが、保護者負担の公私間格差是正を関係各所に訴えていくものです。11月22日に県私学保連会員校25校の保護者会代表者による請願・陳情打ち合わせ会議を開催し、県私学協会の皆様と一緒に12月6日には茨城県議会議長、県議会議員の先生方への請願・陳情、12月14日には茨城県知事、県総務部長への陳情を行いました。我々の活動が必ず、子供達のより良い学習環境づくりに、そして皆様の負担軽減にお役に立つものと信じ、活動してきました。今後もこの活動は、我々県私学保連の活動の柱として、皆様方のお力をお借りしながら、継続して行かなければならない重要な課題です。

そして、最後にもう1つ、各関連団体の総会、研修会、各種会議等への参加です。24年度は、7月12・13日の2日間にわたり、岩手県盛岡市で、日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会主催の総会と研修会が開催され、参加してまいりました。大会テーマは「今こそ私学から発信～生きる力を育む～復興～今、私たちにできること～」で東日本大震災により、甚大な被害を受けた岩手県での開催ということと、研修視察を兼ねた平泉世界遺産（中尊寺・毛越寺）の見学ということで、全国各地から大勢の保護者・先生方の参加がありました。また、生徒達による歓迎のバイオリン演奏やさんさ踊りもあり、東北地方の復興に向けた決意を参加者全員が感じることができました。また、6月27日には関東地区私学保連の役員会が群馬県高崎市で、8月29日には同じ会場で関東地区私学保連の理事会・研修会が開催され、茨城の代表として参加してまいりました。会場で関東地区各県の皆さんの活動内容を聞く場面があり、我々茨城県私学保連の活動がとても充実していることを実感しました。25年3月23日には日私学保連の研修講演会が東京で開催されました。例年開催される「私学振興全国大会」が12月4日に日比谷公会堂で行われる予定でしたが、衆議院の解散とそれに伴う選挙の告示日ということで延期の発表があり、その後今年度の中止が決まりました。大会終了後に茨城県選出の国会議員の先生方にも公私間格差是正の陳情を予定していましたが、大会中止はとて残念でした。

この一年間を振り返り、多くの皆様のご支援ご協力により会長職を全うできましたことを心より感謝申し上げますと共に、この県私学保連のさらなる充実と関係者の皆様のさらなる発展を心から願い、締めくくらせて頂きます。一年間本当にありがとうございました。

平成 24 年度役員のご紹介

会長 塚越和之（つくば秀英高等学校PTA会長）
副会長 小宅紀子（水戸英宏中学校教育後援会副会長）
副会長 市川陽一（つくば秀英高等学校校長）
理事 大石 聡（明秀学園日立高等学校PTA会長）
理事 野口裕子（土浦日本大学高等学校父母と教師の会会長）
監事 荘司知明（常磐大学高等学校PTA会長）

監事 浅岡廣一（常磐大学高等学校校長）
幹事 坂本貞嗣（つくば秀英高等学校教頭）
幹事 若生 剛（水戸英宏中学校事務長）
幹事 安めぐみ（明秀学園日立高等学校教諭）
幹事 赤松浩二（土浦日本大学高等学校庶務部主任）
幹事 石川賢一（常磐大学高等学校教諭）

24年度 活動報告

会議等

- (1) 県私学保連総会(6月13日、於:ホテルレイクビュー水戸)
会員各校の代表者が集まり、平成23年度事業報告及び収支決算報告、平成24年度役員選任、平成24年度事業計画(案)及び収支予算(案)審議が行われました。
- (2) 日私学保連総会・研修会(7月12・13日、於:岩手県盛岡市)
ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングを会場に、総会及び研修会が催されました。初日は講演Ⅰ「私学の立場から見る公私間格差の現状と課題」を拝聴し、各県での私学助成の状況について情報交換を行いました。2日目は講演Ⅱ「世界遺産『平泉』について」を拝聴し、平泉にて研修視察を行いました。本県からは、塚越会長・市川副会長・坂本幹事・若生幹事が出席しました。
- (3) 関東地区代表者会及び研修会(8月29日、於:群馬県高崎市)
ホテルメトロポリタン高崎を会場に、協議会及び研修会が催されました。協議会では各県私学保連の特色ある活動状況や善行生徒表彰規程、広報誌についての情報交換を行いました。研修会では「軸足を学校に」という演題のもと、学校だからこそできる教育についてのお話を伺いました。

県私学保連研修会

11月15日、ホテルレイクビュー水戸において研修会を開催しました。今回は、二松亭ちゃん平氏(茨城キリスト教学園高等学校 齋須 博教諭)による落語を拝聴しました。氏は、高校で教鞭を執る傍ら、独学で落語を研究し、平成23年には「社会人落語日本一決定戦」で三代目名人に選ばれた実力の持ち主です。「千両息子」「学校へ行こう」の2作品を拝聴し、親子や仲間の絆について、楽しみながら考えることができました。



善行生徒表彰

以下に示す個人・団体が行った活動に対して、塚越会長から表彰状が手渡されました。今回の表彰をひとつの契機として、中学生・高校生による社会貢献活動がますます盛んになることを期待しています。



- 清真学園高等学校
……………〔地域文化の向上活動〕 起業で学ぶ現代ゼミ (グループ表彰)
坂本 麗・宮谷臺香純・吉田有李・野中美那
 - つくば秀英高等学校
……………〔環境整備活動〕 永藤千佳・呼格吉楽
 - 同
……………〔社会福祉活動〕 藤原 駿
 - 同
……………〔社会福祉活動〕 渡辺一輝
 - 水戸啓明高等学校
……………〔緊急時貢献活動〕 渡部雄太
 - 明秀学園日立高等学校
……………〔緊急時貢献活動〕
宇留野太希・久家 工・根本大輝・丸山竜平
- 以上 4校 個人:9名 団体:1団体 合計13名

私学助成に関する県議会議長への請願・県知事への陳情

県私学保連役員は私学協会の役員と共に、12月6日に県議会議事堂自民党議員室において県議会議長への請願を、12月14日に知事応接室において県知事への陳情を行いました。

要望事項

1. 経常費補助金について
2. 授業料等減免制度について
3. スクールカウンセラー及び教職員研修費に係る補助金について
4. 耐震化に対する支援及び施設設備の充実・強化について
5. 教職員退職手当助成金に係る補助金について

請願審査結果

12月21日付で県議会議長から「平成25年私立高等学校等経常費等助成に関する請願」は平成24年第4回定例会において採択と決定された通知がありました。



私学助成とは？

私学助成の主なものが「経常費補助金」です。

経常費補助金は、私立学校の経営の健全化、教育条件の維持向上及び保護者負担の軽減を目的として補助されています。

平成24年度は高校生1人当たり330,843円（中等教育学校後期課程同額）・中学生1人当たり302,933円（中等教育学校前期課程同額）の補助金が私立学校に交付されました。

その他

- ・「私立高等学校等授業料減免事業」
- ・「私立学校特色ある教育推進事業」等を行う学校に対して補助金が交付されています。

茨城県私学助成単価の推移

県私学振興室 資料

生徒1人当たりの補助金額

(単位：円)

学 校 種	22 年度	23 年度	24 年度
高 等 学 校	329,327	330,323	330,843
中等教育学校 後期			
中 学 校	298,872	301,487	302,933

就学支援金・授業料減免制度

県私学振興室 資料

高等学校等就学支援金制度

家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して勉強に打ち込めるよう、授業料の一定額が「高等学校等就学支援金」として国から支給されます。

(平成25年度 高等学校全日制の場合)

- 高等学校等就学支援金の支給額は 月額 9,900円 (年額 118,800円) です。
- 保護者の所得に応じて一定額加算 (1.5倍または2倍) されます。

	保護者の年収*1	市町村民税所得割*2	加 算
2 倍	2 5 0 万円未満程度	非課税	月額 9,900 円
1.5 倍	2 5 0 万円～ 3 5 0 万円未満程度	18,900 円に①、②の合計額を加えた額未満 ① 16 歳未満の扶養親族の数× 21,300 円 ② 16 歳以上 19 歳未満の扶養親族の数× 11,100 円	月額 4,950 円

*1 モデル世帯 (夫婦片働き、子供2人 (うち高校生1人)) の場合を想定しています。

*2 市町村民税所得割額は、保護者全員の合算額により判断します。

授業料減免制度

私立高等学校等の生徒等が経済的な理由によって教育機会を失うことがないように、各私立学校では茨城県の補助を受けて「授業料減免事業」を実施しています。

(注) 私立学校によっては独自の奨学金制度を実施していることなどから、この制度を設けていない学校があります。

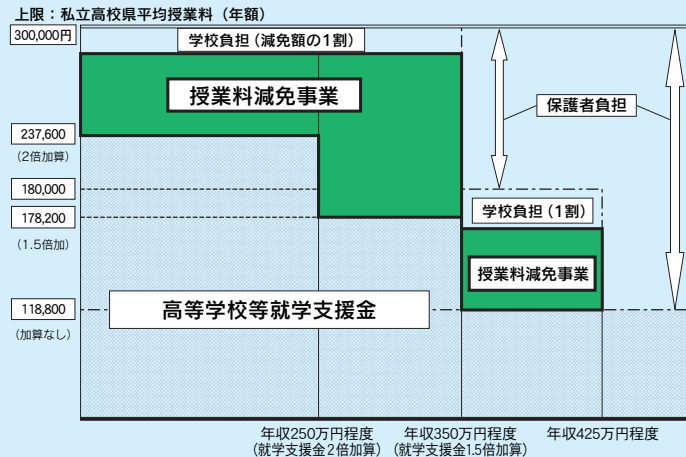
生徒1人あたりの減免額 (平成25年度、高等学校全日制課程の場合)

保護者の年収	就学支援金	減免上限額
350～425万円未満程度	加算なし	年間18万円と就学支援金との差額
250～350万円未満程度	1.5倍加算	私立高校県平均授業料 (年額30万円) 又は 納付すべき授業料の額のいずれか少ない額と就学支援金の差額
250万円未満程度	2倍加算	

※ 保護者の年収は、モデル世帯 (夫婦片働き、子供2人 (うち高校生1人)) の場合を想定しています。

また、就学支援金制度とは対象者の判断基準が違うので、就学支援金の加算を受けている世帯でも、授業料減免事業の対象とならない場合があります。

平成25年度 就学支援金・授業料減免事業のイメージ



会員校紹介

明秀学園日立高等学校

明秀学園日立高等学校は、平成27年に創立90周年を迎えます。長い歴史の中で卒業生や地域の皆様に見守られ、建学の精神「明るく 清く 凛々しく」を拠に歩んでいます。

本校PTAは、会員と会員OBの縦・横・斜めのコミュニケーションを大切にしながら学校の応援団として活動しています。主な活動として、よりよい学習環境作りの支援をはじめ、総務委員会は広報紙、文化委員会は各種講習会や研修旅行、生徒指導委員会は朝の立哨や夏祭りのパトロール、そして保健体育委員会はAED講習会やスポーツ交流会等を実施し、役員会が各活動をバックアップする形で会員同士の親睦を図っています。

2年に1度の「見燿祭」では、役員・委員が協力し合い、飲み物や手作りクッキーを味わい、手芸講座・ハン

ドマッサージなどを楽しめるいこいの場を提供し、来校者の間で好評です。また、安全な文化祭運営のために委員と教員の合同巡視も行っています。



土浦日本大学高等学校

本校の父母と教師の会は1,700名を超える会員数です。

年間事業の中でも、文化祭におけるバザーの出展と研修旅行には、特に多くの会員の方々に参加していただいています。バザーは、平成23年度より被災地の復興支援を目的として取り組まれ、会員の方々の協力のもと、多くの義援金を寄付することができました。また研修旅行は、劇団四季ミュージカル鑑賞を中心とした内容で実施し、好評をいただきました。

12の地域に分かれた支部ごとの活動も活発に行われており、保護者と教員のみならず、保護者同士のよい意見交換・交流の場となっています。各支部ではアットホームな雰囲気の中、進路講演会や支部ごとに工夫をこらした交流会などを開催しており、気軽に参加していただける環境です。

学校と家庭のつながりを密にし、子どもたちの能力を最大限に発揮できるよりよい教育環境づくりを実現するとともに、保護者の方々にも楽しんで参加していただけるよう、さらなる活動の充実を目指します。



会員 25年4月現在 25保護者会

明秀学園日立高校・茨城キリスト教学園高校・茨城キリスト教学園中学校・大成女子高校・常磐大学高校・茨城高校中学校・水戸女子高校・水戸啓明高校・水戸葵陵高校・水戸英宏中学校・水城高校・清真学園高校中学校・鹿島学園高校・岩瀬日本大学高校・つくば国際大学高校・霞ヶ浦高校・土浦日本大学高校・土浦日本大学中等教育学校・東洋大学附属牛久高校・愛国学園大学附属龍ヶ崎高校・江戸川学園取手高校中学校・常総学院高校中学校・聖徳大学附属取手聖徳女子高校中学校・茗深学園中学校高校・つくば秀英高校

25年度の活動予定

6月14日	総会及び教育懇談会
7月12日～13日	日私学保連総会・研修会（香川県高松市）
8月28日	関東地区学保連代表者及び研修会（栃木県宇都宮市）
10月22日	研修会及び善行生徒表彰
11月22日	請願・陳情打ち合わせ会議
12月3日	私学振興全国大会（日比谷公会堂）

編集後記

『私学いばらき』第3号をお届けいたします。本誌が私学助成の充実と各校保護者会の連携強化の一助となれば幸いです。発行にあたり、事務局及びご協力いただきました方々に対しまして、この場をお借りしてお礼申し上げます。（W）